

平成 29 年度 第 1 回
「地盤工学会誌」編集委員会 運営委員会
議事録

日 時 : 平成 29 年 4 月 13 日 (木) 14:00~17:00	
場 所 : 地盤工学会 (JGS 会館) 会議室	
出席者 (敬称略)	出席 : ○(本部), ●(電子) 欠席 : ×

会 務	氏 名	出欠	会 務	氏 名	出欠
理事・編集委員長	高橋 章浩	○	企画・編集G委員	浅野 将人	×
オブザーバー	石川 達也	●	企画・編集G委員	木内 大介	○
編集副委員長	鈴木健一郎	○	企画・編集G委員	京川 裕之	×
企画・編集G主査	福永 勇介	○	企画・編集G委員	松村 聡	○
第ⅠG主査	正田 大輔	○	企画・編集G委員	森田 年一	×
第ⅡG主査	長澤 正明	○	企画・編集G委員(シニア)	久保 博	×
第ⅢG主査	野村 英雄	○	企画・編集G委員(広報担当)	藤原 優	×
第ⅣG主査	野原慎太郎	○	企画・編集G委員(学生主査)	石川 敬祐	○
講座委員長	野田 利弘	×	企画・編集G委員(学生担当)	加島 寛章	×
講座委員会・幹事	小林 浩二	○	企画・編集G委員(学生担当)	松澤 真	×
北海道支部委員(企)	西村 聡	×	学生編集委員(北海道)	中野渡博道	×
東北支部委員(Ⅱ)	金子 賢治	×	学生編集委員(東北)	盛 健太郎	×
北陸支部委員(Ⅰ)	大竹 雄	×	学生編集委員(北陸)	児玉真乃介	×
関東支部委員(企)	渡邊 諭	×	学生編集委員(関東)	万代 俊之	×
中部支部委員(Ⅳ)	酒井 崇之	●	学生編集委員(中部)	鈴木 彩華	×
関西支部委員(Ⅱ)	木元小百合	×	学生編集委員(関西)	木戸隆之祐	×
中国支部委員(Ⅲ)	北出 圭介	○	学生編集委員(中国)	朝倉さや香	×
四国支部委員(Ⅰ)	野々村敦子	●	学生編集委員(四国)	阿部 龍矢	×
九州支部委員(Ⅲ) *	古川全太郎	●	学生編集委員(九州)	遠藤 圭吾	×
(* 原 弘行 委員と交代)					

本日の議事録担当委員 : 長澤主査 (次回以降の予定 : 野村主査→野原主査)

議 題 :

1. 前回議事録(案)の確認
 - 1) 運営委員会議事録(案) (2/8) (正田主査/メール配信済) (別紙-1)
⇒承認された。
2. 全体関係
 - 1) 理事会 (2/24 (書面), 3/17), 公益出版部会 (3/7) の報告 (高橋委員長) (別紙-2~3)
⇒高橋委員長より、理事会、公益出版部会の審議内容について議事録をもとに報告された。
地盤工学会誌の電子版を勧めており、多くの方に電子版への移行をお願いしたい。
 - 2) 委員の異動
 - ・九州支部委員 (Ⅲ) の交代 : 原 弘行 委員 (宮崎大) → 古川全太郎 氏 (九州大) [2017.4.1~]
⇒上記委員の交代が報告された。公益出版部に報告後、理事会に報告する。
 - 3) 編集委員の任期・後任委員の選定について (事務局) (別紙-4)
⇒・別紙にて、交替委員について事務局から報告あり。
一部不備があるため、後日、修正版を事務局から編集委員にメールにて送付する。
 - ・支部委員は、4月21日までに事務局に連絡をもらうこととなっている。
 - ・交代の方は早めに引き継ぎのこと。
 - ・委任状は、原則として6月付けとする。ただし、4月付けで委任状をもらいたい方は、個別に事務局に問い合わせのこと。
 - 4) 学会誌の電子化について (高橋委員長, 事務局)

- ・ 2017年4月号～本格運用を開始。
- ・ 電子版への移行申込みは3/2(木)迄受付(正規の締切りは2/20(月))を行い、1,425件の申込みがあった。

3. 「地盤工学会誌」進捗状況について

- 1) 全体の進捗状況(事務局) (別紙-5)
⇒特に遅れなし。

4. 担当グループからの報告および検討事項

1) 企画・編集グループ(福永主査・石川学生主査)

① 学生編集委員会について

- ・ 29年記事(案)進捗状況 (別紙-6)
- ・ 記事(案)
 - *10月号 } 29年学生記事:10,11月号については「2巡目」となるため掲載記事なし。
 - *11月号 }

⇒特に異議なし。

「なるべく各号掲載する」ということであり、必ず各号掲載するということではないのでフレキシブルに対応することで良い。

② 特集記事以外の記事案について

- ・ 29年担当委員 (別紙-7)
- ・ 記事(案)(審議)
 - *9月号(浅野委員・渡邊委員) (別紙-8)
 - *10月号(藤原委員・西村委員) (別紙-9)
 - *11月号(松村委員・森田委員) (別紙-10)

⇒10月号の「ジオスロープ工法」は、工法名であるため、文中で連呼しないように伝えること。

工法名は“タイトル”と”はじめに”だけに留めるなどし、文中では一般名称や”当該技術”等の表現にす

るように留意すること。

その他は、特に意見がなく了承された。

③ 「自由投稿原稿」について

- ・ 進捗状況 (別紙-11)
- ⇒現在のところ、すべての原稿は掲載月が決まっていることを確認した。

④ その他の投稿記事

- ・ 学会の動き(国際活動から)(審議)
 - *第8回地盤工学における最近の課題に関するアジアジョイントシンポジウム (別紙-12)

⇒了承された。

- ・ 海外の動き(審議)
 - *高野大樹会員「ASTM Hogentogler Award」を受賞 (別紙-13)

⇒掲載区分は「海外の動き」が良いかもしれない。過去の例を事務局で調べ、それに倣って変更。

掲載については了承されたが、論文の内容をより詳しく紹介することと、楯の写真はもう少し小さめにするように執筆者に伝えること

- ・ 書籍紹介(審議)
 - *『地形の辞典』 (別紙-14)
 - *『不動産取引と土壌汚染のリスク』 (別紙-15)
 - *『地質職人たちのアーカイブス』 (別紙-16)

⇒3件とも了承された。ページの分量は掲載月の状況に合わせて調整する。

⑤ 「読者モニター」について(事務局) → 今回なし。

2) 第1グループ(正田主査)

- ・ 平成29年5月号(←4月号から変更)について:目次案 (別紙-17)
- ・ 平成29年9月号(←8月号から変更)について:構成案 (別紙-18)

⇒公募で1件のみだったので追加で依頼した。

追加で依頼したものの取り扱いは、公募するのか依頼とするのか区分を明確にすること。

- ・ 平成29年12月号(合併号)について:編集方針 (別紙-19)

⇒北海道豪雨災害報告は、報告書が7月中にまとまる予定である。

地盤工学研究発表会報告内容を掲載するかは、その他の機会でも報告を掲載するも含めて、災害調査委員会で検討する。(石川 次期委員長)

- ・H29.7月中旬に原稿受理となる。誌面掲載分は早めに執筆依頼をしておくこと。
- ・構成については原案どおり了承された。ディスカッションセッションも入れることとする。

・平成30年4月号について：趣旨文案(審議) (別紙-20)

⇒一部、表現の修正が必要。

(「トンネル、道路、鉄道、橋脚や、～発電所等」というのは、用途と工種なのか並びが不適當。)

- ・「～、国内外での動向～」は「～、地盤工学面から見た国内外での動向～」の方が良い。
- ・全依頼か公募も含めるかは、総説執筆者候補の赤城先生に相談して決めること。

3) 第2グループ(長澤主査)

・平成29年6月号(←5月号から変更)について：目次案 (別紙-21)

・平成29年9月号(変更前)について：(←「失敗事例からの教訓」については、<熊本地震特集>が4月号に掲載と決まったため、掲載は見送る。)

・平成30年1月号について：趣旨文・構成案，公募会告(H29.5月号～締切：29/6/15)

(別紙-22)

⇒進捗状況の説明あり。特になし。

4) 第3グループ(野村主査)

・平成29年7月号(←6月号から変更)について：目次案 (別紙-23)

・平成29年10月号について：構成案 (別紙-24)

⇒公募分は概要審査を終了済み。

・珠久先生の投稿区分は、総説の村上先生、論説の長尾さんに相談すること。

・平成30年2月号について：趣旨文案(確認)・構成案，公募会告(H29.6月号～締切：29/7/15)

(別紙-25)

⇒趣旨の内容は前回委員会の結果を受けて修正した。

・清木先生と打合せした結果、公募が無ければ先生と相談することや、総説タイトルは論説の内容を決めてから検討するとしている。

5) 第4グループ(野原主査)

・平成29年8月号(←7月号から変更)について：構成案 (別紙-26)

⇒執筆者の所属が変更となった場合は、基本的には執筆時期の所属とし、文章の最後にことわりを入れることが多い。執筆者にはそのような方法でできないか確認する。

・平成29年11月号(合併号)について：趣旨文・構成案，公募中(H29.3月号～締切29/4/15)

(別紙-27)

⇒公募は現在1件。総説の勝見先生には公募状況を伝えておりプッシュをお願いしている。

・平成30年3月号について：趣旨文案(審議) (別紙-28)

⇒趣旨文の内容は了承された。

・総説執筆者として、東京農工大の向後先生等が挙げられる。また、國生先生はテーマ選出希望をしていた経緯はある。グループ内で審議して結果を報告する。

5. 講座委員会から(野田委員長・小林講座幹事) (別紙-29)

1) 講座の進捗状況(報告)

⇒平成29年下期のテーマのタイトル変更があった。全般として順調に進んでおり特に問題はない。

6. その他

1) 次回運営委員会予定日：平成29年6月 日 () 15:00～17:00

(28年度：28.7.11 15:00～17:00, 27年度：27.7.2)

⇒次回は新旧交代となる。6月に実施するが、詳細な日程調整は後日とする。

・7月の研究発表会にて委員全体での初顔合わせをするか今後検討する。

<年間の開催予定>(年6回)【H29年度】(案)

②6月(新旧交代)，※7月(初顔合わせ？(研究発表会時：7/12～14))，③8月(全体編集委員会)，④10月，⑤12月，⑥2月，①4月(新任委員のオブザーバー参加あり)(開催時期は28年度より変更)